

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 12 月 16 日 (2021.12.16)

【公表番号】特表 2021-514139 (P2021-514139A)

【公表日】令和 3 年 6 月 3 日 (2021.6.3)

【年通号数】公開・登録公報 2021-025

【出願番号】特願 2020-543312 (P2020-543312)

【国際特許分類】

H 0 4 W 28/20 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 28/20

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 11 月 5 日 (2021.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザ機器 (UE) におけるワイヤレス通信の方法であって、  
無線周波数 (RF) 能力情報およびベースバンド能力情報を備える UE 能力情報を決定  
することと、前記ベースバンド能力情報は、ヌメロロジを示す少なくとも 1 つの他のベ  
ースバンドパラメータを備え、前記 RF 能力情報は、少なくとも 1 つの帯域組合せに関して  
RF 能力を示し、ここにおいて、前記 RF 能力情報は、前記ヌメロロジが前記少なくとも  
1 つの帯域組合せ内の特定の RF 帯域についてサポートされるかどうかを示す前記少なく  
とも 1 つの他のベースバンドパラメータのインデックスを備え、  
前記 UE 能力情報を基地局にシグナリングすることと、  
を備える、方法。

【請求項 2】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、帯域ごとに示される、請求項 1  
 に記載の方法。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについて  
 のサポートは、識別子 (ID) を使用して示される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについて  
 のサポートは、コンポーネントキャリア (CC) ごとに示される、請求項 1 に記載の方法  
 。

【請求項 5】

CC についての前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンド  
パラメータについての前記サポートは、識別子 (ID) を使用して示される、請求項 4 に  
記載の方法。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータにつ  
いての前記サポートは、帯域ごと、および CC ごとに示される、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 RF 能力情報は、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバン

ドパラメータの対応する識別子 ( I D ) に関して、前記ベースバンドパラメータについてのサポートを示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ベースバンドパラメータは、前記対応する I D に関して帯域パラメータのサポートを示す、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記ベースバンドパラメータは、前記対応する I D に関してコンポーネントキャリア ( C C ) パラメータについてのサポートを示す、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、前記 U E によってサポートされる能力のリストに含まれる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

能力の前記リストにおける各能力は、対応する他のベースバンドパラメータ識別子 ( I D ) を有する、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記少なくとも 1 つの帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記 R F 能力情報は、前記帯域幅組合せセット識別子に関して、複数のベースバンドのうちの 1 つについての R F 能力を示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、複数の R F 帯域にわたって共通である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

前記少なくとも 1 つの帯域組合せは、前記ヌメロロジと、レイヤまたは帯域幅のうちの少なくとも 1 つと、を備える組合せを示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 15】

前記 R F 能力情報は、前記ヌメロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組合せについてサポートされるかどうかを示す、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記 U E 能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】

前記少なくとも 1 つの帯域組合せは、複数の帯域組合せを定義し、前記少なくとも 1 つの帯域組合せは、前記ヌメロロジと、レイヤおよび複数の帯域幅クラスのうちの帯域幅クラスのうちの少なくとも 1 つと、を備え、前記 R F 能力情報は、前記複数の帯域幅クラスのうちの 1 つについての R F 能力を示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 18】

ユーザ機器 ( U E ) におけるワイヤレス通信のための装置であって、  
無線周波数 ( R F ) 能力情報およびベースバンド能力情報を備える U E 能力情報を決定するための手段と、前記ベースバンド能力情報は、ヌメロロジを示す少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータを備え、前記 R F 能力情報は、少なくとも 1 つの帯域組合せに関して R F 能力を示し、ここにおいて、前記 R F 能力情報は、前記ヌメロロジが前記少なくとも 1 つの帯域組合せ内の特定の R F 帯域についてサポートされるかどうかを示す前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのインデックスを備え、  
前記 U E 能力情報を基地局にシグナリングするための手段と、  
を備える、装置。

【請求項 19】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、識別子 ( I D ) を使用して帯域ごとに示される、請求項 18 に記載の装置。

【請求項 20】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、コンポーネントキャリア（CC）ごとに、および識別子（ID）を使用して示される、請求項18に記載の装置。

【請求項21】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについての前記サポートは、帯域ごと、およびCCごとに示される、請求項20に記載の装置。

【請求項22】

前記RF能力情報は、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータの対応する識別子（ID）に関して、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートを示す、請求項18に記載の装置。

【請求項23】

コンポーネントキャリア（CC）パラメータについての前記サポートは、前記対応するIDに関して示される、請求項22に記載の装置。

【請求項24】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、前記UEによってサポートされる能力のリストに含まれ、能力の前記リストにおける各能力は、対応する他のベースバンドパラメータ識別子（ID）を有する、請求項18に記載の装置。

【請求項25】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記RF能力情報は、前記帯域幅組合せセット識別子に関して、複数のベースバンドのうちの1つについてのRF能力を示す、請求項18に記載の装置。

【請求項26】

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、複数のRF帯域にわたって共通である、請求項18に記載の装置。

【請求項27】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、前記ヌメロロジと、レイヤまたは帯域幅のうちの少なくとも1つと、を備える組合せを示す、請求項26に記載の装置。

【請求項28】

前記RF能力情報は、前記ヌメロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組合せについてサポートされるかどうかを示す、請求項27に記載の装置。

【請求項29】

前記UE能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、請求項18に記載の装置。

【請求項30】

前記少なくとも1つの帯域組合せは、複数の帯域組合せを定義し、前記少なくとも1つの帯域組合せは、前記ヌメロロジと、レイヤおよび複数の帯域幅クラスのうちの帯域幅クラスのうちの少なくとも1つとを備え、前記RF能力情報は、前記複数の帯域幅クラスのうちの1つについてのRF能力を示す、請求項18に記載の装置。

【請求項31】

ユーザ機器（UE）におけるワイヤレス通信のための装置であって、メモリと、

前記メモリに結合された少なくとも1つのプロセッサと、

を備え、前記少なくとも1つのプロセッサは、

無線周波数（RF）能力情報およびベースバンド能力情報を備えるUE能力情報を決定することと、前記ベースバンド能力情報は、ヌメロロジを示す少なくとも1つの他のベースバンドパラメータを備え、前記RF能力情報は、少なくとも1つの帯域組合せに関してRF能力を示し、ここにおいて、前記RF能力情報は、前記ヌメロロジが前記少なくとも1つの帯域組合せ内の特定のRF帯域についてサポートされるかどうかを示す前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのインデックスを備え、

UE 能力情報を基地局にシグナリングすることと、  
を行うように構成される、装置。

【請求項 3 2】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、帯域ごとに識別子 (ID) を使用して示される、請求項 3 1 に記載の装置。

【請求項 3 3】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータについてのサポートは、コンポーネントキャリア (CC) ごとに識別子 (ID) を使用して示される、請求項 3 1 に記載の装置。

【請求項 3 4】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータについてのサポートは、帯域ごと、および CC ごとに示される、請求項 3 3 に記載の装置。

【請求項 3 5】

前記 RF 能力情報は、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータの対応する識別子 (ID) に関して、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートを示す、請求項 3 1 に記載の装置。

【請求項 3 6】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、前記対応する ID に関してコンポーネントキャリア (CC) パラメータについての前記サポートを示す、請求項 3 5 に記載の装置。

【請求項 3 7】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、前記 UE によってサポートされる能力のリストに含まれ、能力の前記リストにおける各能力は、対応する他のベースバンドパラメータ識別子 (ID) を有する、請求項 3 1 に記載の装置。

【請求項 3 8】

前記少なくとも 1 つの帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記 RF 能力情報は、前記帯域幅組合せセット識別子に関して、複数のベースバンドのうちの 1 つについての RF 能力を示す、請求項 3 1 に記載の装置。

【請求項 3 9】

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、複数の RF 帯域にわたって共通である、請求項 3 1 に記載の装置。

【請求項 4 0】

前記少なくとも 1 つの帯域組合せは、前記ヌメロロジと、レイヤまたは帯域幅のうちの少なくとも 1 つと、を備える組合せを示す、請求項 3 9 に記載の装置。

【請求項 4 1】

前記 RF 能力情報は、前記ヌメロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組合せについてサポートされるかどうかを示す、請求項 4 0 に記載の装置。

【請求項 4 2】

前記 UE 能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、請求項 3 1 に記載の装置。

【請求項 4 3】

前記少なくとも 1 つの帯域組合せは、複数の帯域組合せを定義し、前記少なくとも 1 つの帯域組合せは、前記ヌメロロジと、レイヤおよび複数の帯域幅クラスのうちの 1 つの帯域幅クラスのうちの少なくとも 1 つとを備え、前記 RF 能力情報は、前記複数の帯域幅クラスのうちの 1 つについての RF 能力を示す、請求項 3 1 に記載の装置。

【請求項 4 4】

ユーザ機器 (UE) におけるワイヤレス通信のためのコンピュータ実行可能コードを記憶する非一時的コンピュータ可読媒体であって、前記コードは、プロセッサによって実行されると、前記プロセッサに、

無線周波数（ＲＦ）能力情報およびベースバンド能力情報を備えるＵＥ能力情報を決定することと、前記ベースバンド能力情報は、ヌメロロジを示す少なくとも１つの他のベースバンドパラメータを備え、前記ＲＦ能力情報は、少なくとも１つの帯域組合せに関してＲＦ能力を示し、ここにおいて、前記ＲＦ能力情報は、前記ヌメロロジが前記少なくとも１つの帯域組合せ内の特定のＲＦ帯域についてサポートされるかどうかを示す前記少なくとも１つの他のベースバンドパラメータのインデックスを備え、

ＵＥ能力情報を基地局にシグナリングすることと、  
を行わせる、非一時的コンピュータ可読媒体。

【**手続補正２**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】０１２５

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**０１２５**】

[00135] 先の説明は、当業者が本明細書で説明されている様々な態様を実施することを可能にするために提供されている。これらの態様に対する様々な修正は、当業者に容易に明らかとなり、本明細書で定義される包括的な原理は他の態様に適用され得る。したがって、特許請求の範囲は、本明細書に示されている態様に限定されることが意図されたものではなく、請求項の文言と矛盾しない最大範囲であると認められるべきであり、ここにおいて、単数の要素の参照は、そのように明確に記載されていない限り、「１つおよび１つのみ」を意味するのではなく、むしろ「１つまたは複数」を意味するように意図されている。「例示的な」という用語は、本明細書では、「例、事例、または例示としての役割を果たす」ことを意味するように使用されている。「例示的な」ものとして、本明細書で説明される任意の態様は、必ずしも他の態様に対して好ましいまたは有利なものとして解釈されるべきではない。別段明記されていない限り、「いくつかの」という用語は１つまたは複数を指す。「Ａ、Ｂ、またはＣのうちの少なくとも１つ」、「Ａ、Ｂ、またはＣのうちの１つまたは複数」、「Ａ、Ｂ、およびＣのうちの少なくとも１つ」、「Ａ、Ｂ、およびＣのうちの１つまたは複数」、および「Ａ、Ｂ、Ｃ、またはこれらの任意の組合せ」などの組合せは、Ａ、Ｂ、および／またはＣの任意の組合せを含み、複数のＡ、複数のＢ、または複数のＣを含み得る。特に、「Ａ、Ｂ、またはＣのうちの少なくとも１つ」、「Ａ、Ｂ、またはＣのうちの１つまたは複数」、「Ａ、Ｂ、およびＣのうちの少なくとも１つ」、「Ａ、Ｂ、およびＣのうちの１つまたは複数」、および「Ａ、Ｂ、Ｃ、またはこれらの任意の組合せ」などの組合せは、Ａのみ、Ｂのみ、Ｃのみ、ＡとＢ、ＡとＣ、ＢとＣ、またはＡとＢとＣであり得、ここで、このような任意の組合せが、Ａ、Ｂ、またはＣの１つまたは複数のメンバーを含み得る。当業者に既知である、または後に知られることになる、本開示全体にわたって説明された様々な態様の要素に対するすべての構造的および機能的な同等物が、参照によって本明細書に明確に組み込まれ、特許請求の範囲によって包含されることが意図されている。さらに、本明細書で開示されたものが、特許請求の範囲に明示的に記載されているかどうかにかかわらず、そのような開示は公に寄与されることを意図したものではない。「モジュール」、「メカニズム」、「要素」、「デバイス」などの用語は、「手段」という用語の代用でないこともある。このように、いずれの請求項の要素も、その要素が「～のための手段」というフレーズを使用して明示的に記載されていない限り、ミーンズプラスファンクションとして解釈されるべきではない。

以下に本願の出願当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。

【**Ｃ１**】

ユーザ機器（ＵＥ）におけるワイヤレス通信の方法であって、  
少なくとも１つのＵＥ能力を決定することと、  
ＵＥ能力情報を基地局にシグナリングすることと、  
を備え、前記シグナリングすることは、

少なくとも１つの帯域組合せに関して無線周波数（ＲＦ）能力情報を前記基地局にシ

グナリングすることと、

少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータを前記基地局にシグナリングすることと、  
ここにおいて、前記 R F 能力情報は、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータに関して R F 能力を示す、  
を含む、方法。

[ C 2 ]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、帯域ごとに示される、C 1 に記載の方法。

[ C 3 ]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、識別子 ( I D ) を使用して示される、C 2 に記載の方法。

[ C 4 ]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについてのサポートは、コンポーネントキャリア ( C C ) ごとに示される、C 1 に記載の方法。

[ C 5 ]

C C についての前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについての前記サポートは、識別子 ( I D ) を使用して示される、C 4 に記載の方法。

[ C 6 ]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、帯域ごと、および C C ごとに示される、C 1 に記載の方法。

[ C 7 ]

前記 R F 能力情報は、前記他のベースバンドパラメータについての対応する識別子 ( I D ) に関して、前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートを示す、C 1 に記載の方法。

[ C 8 ]

他の各ベースバンドパラメータは、前記対応する I D に関して帯域パラメータのサポートを示す、C 7 に記載の方法。

[ C 9 ]

他の各ベースバンドパラメータは、前記 I D に関してコンポーネントキャリア ( C C ) パラメータについてのサポートを示す、C 8 に記載の方法。

[ C 1 0 ]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、前記 U E によってサポートされる能力のリストに含まれる、C 1 に記載の方法。

[ C 1 1 ]

前記 U E によってサポートされる能力の各セットは、対応する他のベースバンドパラメータ識別子 ( I D ) を有する、C 1 0 に記載の方法。

[ C 1 2 ]

定義された各帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記 R F 能力情報は、前記帯域幅組合せセット識別子に関して、定義された複数のベースバンドのうちの 1 つについての前記 R F 能力を示す、C 1 に記載の方法。

[ C 1 3 ]

前記少なくとも 1 つの他のベースバンドパラメータは、複数の R F 帯域にわたって共通である、C 1 に記載の方法。

[ C 1 4 ]

各帯域組合せは、ヌメロロジ、レイヤ、または帯域幅のうちの少なくとも 1 つを備える組合せを示す、C 1 に記載の方法。

[ C 1 5 ]

前記 R F 能力情報は、前記ヌメロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組

合せについてサポートされるかどうかを示す、C 1 4 に記載の方法。

[ C 1 6 ]

前記 U E 能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、C 1 に記載の方法。

[ C 1 7 ]

複数の帯域組合せが定義され、各帯域組合せは、ヌメロロジ、レイヤ、および帯域幅クラスのうちの少なくとも1つを備え、

前記 R F 能力情報は、前記定義された複数の帯域幅クラスのうちの1つについての R F 能力を示す、C 1 に記載の方法。

[ C 1 8 ]

ユーザ機器 ( U E ) におけるワイヤレス通信のための装置であって、

少なくとも1つの U E 能力を決定するための手段と、

基地局に U E 能力情報をシグナリングするための手段と、

を備え、ここにおいて、前記シグナリングのための手段は、

少なくとも1つの帯域組合せに関して無線周波数 ( R F ) 能力情報を前記基地局にシグナリングすることと、

少なくとも1つの他のベースバンドパラメータを前記基地局にシグナリングすることと、ここにおいて、前記 R F 能力情報は、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータに関して R F 能力を示す、

を行うように構成された、装置。

[ C 1 9 ]

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、識別子 ( I D ) を使用して帯域ごとに示される、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 0 ]

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについての前記サポートは、コンポーネントキャリア ( C C ) ごとに、および識別子 ( I D ) を使用して示される、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 1 ]

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについての前記サポートは、帯域ごと、および C C ごとに示される、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 2 ]

前記 R F 能力情報は、前記他のベースバンドパラメータについての対応する識別子 ( I D ) に関して、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータの前記ベースバンドパラメータについての前記サポートを示す、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 3 ]

コンポーネントキャリア ( C C ) パラメータについての前記サポートは、前記 I D に関して示される、C 2 2 に記載の装置。

[ C 2 4 ]

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、前記 U E によってサポートされる能力のリストに含まれ、前記 U E によってサポートされる能力の各セットは、対応する他のベースバンドパラメータ識別子 ( I D ) を有する、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 5 ]

定義された各帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記 R F 能力情報は、前記帯域幅組合せセット識別子に関して、定義された複数のベースバンドのうちの1つについての前記 R F 能力を示す、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 6 ]

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、複数の R F 帯域にわたって共通である、C 1 8 に記載の装置。

[ C 2 7 ]

各帯域組合せは、ヌメロロジ、レイヤ、または帯域幅のうちの少なくとも1つを備える

組合せを示す、C 2 6 に記載の装置。

[ C 2 8 ]

前記 R F 能力情報は、前記ヌメロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組合せについてサポートされるかどうかを示す、C 2 7 に記載の装置。

[ C 2 9 ]

前記 U E 能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、C 1 8 に記載の装置。

[ C 3 0 ]

複数の帯域組合せが定義され、各帯域組合せは、ヌメロロジ、レイヤ、および帯域幅クラスのうちの少なくとも1つを備え、

前記 R F 能力情報は、前記定義された複数の帯域幅クラスのうちの1つについての R F 能力を示す、C 1 8 に記載の装置。

[ C 3 1 ]

ユーザ機器 ( U E ) におけるワイヤレス通信のための装置であって、メモリと、

前記メモリに結合された少なくとも1つのプロセッサと、

を備え、前記少なくとも1つのプロセッサは、

少なくとも1つの U E 能力を決定することと、

U E 能力情報を基地局にシグナリングすることと、

を行うように構成され、前記シグナリングすることは、

少なくとも1つの帯域組合せに関して無線周波数 ( R F ) 能力情報を前記基地局にシグナリングすることと、

少なくとも1つの他のベースバンドパラメータを前記基地局にシグナリングすることと、ここにおいて、前記 R F 能力情報は、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータに関して R F 能力を示す、

を含む、装置。

[ C 3 2 ]

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートは、帯域ごとに、および識別子 ( I D ) を使用して示される、C 3 1 に記載の装置。

[ C 3 3 ]

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータについてのサポートは、コンポーネントキャリア ( C C ) ごとに、および識別子 ( I D ) を使用して示される、C 3 1 に記載の装置。

[ C 3 4 ]

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータについてのサポートは、帯域ごと、および C C ごとに示される、C 3 1 に記載の装置。

[ C 3 5 ]

前記 R F 能力情報は、前記他のベースバンドパラメータについての対応する識別子 ( I D ) に関して、前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータのベースバンドパラメータについてのサポートを示す、C 3 1 に記載の装置。

[ C 3 6 ]

前記他のベースバンドパラメータは、前記 I D に関してコンポーネントキャリア ( C C ) パラメータについての前記サポートを示す、C 3 5 に記載の装置。

[ C 3 7 ]

前記少なくとも1つの他のベースバンドパラメータは、前記 U E によってサポートされる能力のリストに含まれ、前記 U E によってサポートされる能力の各セットは、対応する他のベースバンドパラメータ識別子 ( I D ) を有する、C 3 1 に記載の装置。

[ C 3 8 ]

定義された各帯域組合せは、帯域幅組合せセット識別子を備え、前記 R F 能力情報は、



前記帯域幅組合せセット識別子に関して、定義された複数のベースバンドのうちの１つについての前記ＲＦ能力を示す、Ｃ３１に記載の装置。

[Ｃ３９]

前記少なくとも１つの他のベースバンドパラメータは、複数のＲＦ帯域にわたって共通である、Ｃ３１に記載の装置。

[Ｃ４０]

各帯域組合せは、ヌメロロジ、レイヤ、または帯域幅のうちの少なくとも１つを備える組合せを示す、Ｃ３９に記載の装置。

[Ｃ４１]

前記ＲＦ能力情報は、前記ヌメロロジ、前記レイヤ、および前記帯域幅が特定の帯域組合せについてサポートされるかどうかを示す、Ｃ４０に記載の装置。

[Ｃ４２]

前記ＵＥ能力情報は、帯域幅クラスの指示なしでシグナリングされる、Ｃ３１に記載の装置。

[Ｃ４３]

複数の帯域組合せが定義され、各帯域組合せは、ヌメロロジ、レイヤ、および帯域幅クラスのうちの少なくとも１つを備え、

前記ＲＦ能力情報は、前記定義された複数の帯域幅クラスのうちの１つについてのＲＦ能力を示す、Ｃ３１に記載の装置。

[Ｃ４４]

ユーザ機器（ＵＥ）におけるワイヤレス通信のためのコンピュータ実行可能コードを記憶するコンピュータ可読媒体であって、前記コードは、プロセッサによって実行されると、前記プロセッサに、

少なくとも１つのＵＥ能力を決定することと、

ＵＥ能力情報を基地局にシグナリングすることと、

を行わせ、前記シグナリングすることは、

少なくとも１つの帯域組合せに関して無線周波数（ＲＦ）能力情報を前記基地局にシグナリングすることと、

少なくとも１つの他のベースバンドパラメータを前記基地局にシグナリングすることと、ここにおいて、前記ＲＦ能力情報は、前記少なくとも１つの他のベースバンドパラメータに関してＲＦ能力を示す、

を含む、コンピュータ可読媒体。